

部局間交流協定に基づく
派遣留学案内

京都大学 大学院経済学研究科・経済学部

GUIDE
TO STUDY
ABROAD

INDEX

- 02 はじめに
- 03 派遣留学日程
- 04 派遣留学対象交流協定校一覧
- 05 中国人民大学 経済学院
- 06 北京大学 経済学院・光華管理学院
- 07 国立台湾大学 社会科学院
- 08 国立政治大学 社会科学院
- 09 慶北大学校 経商大学
- 10 タマサート大学 経済学部・国際学部
- 11 チュラロンコーン大学 経済学部
- 12 チェンマイ大学 経済学部
- 13 フィリピン大学 ロスバニョス校
- 14 ガジャマダ大学 経済経営学部
- 15 シンガポール・マネジメント大学
- 16 グラスゴー大学 社会科学系カレッジ
- 17 ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学 経済経営学部
- 19 ハイデルベルク大学 異文化研究センター及びグローバルな文脈におけるアジア・ヨーロッパ研究クラスター
- 21 ワーヘニンゲン大学
- 23 ルーヴェン・カトリック大学 経済経営学部
- 25 ヨンショーピング大学 国際ビジネススクール
- 27 よくある質問とその答え
- 31 授業料等を不徴収とする部局間学生交流協定校への派遣留学生募集要項〔学部学生〕
- 33 授業料等を不徴収とする部局間学生交流協定校への派遣留学生募集要項〔大学院生〕

はじめに

京都大学 大学院経済学研究科・経済学部では、
世界の17大学19部局と学生交流協定を締結して、
学生の派遣と受け入れを行っています。

本研究科・学部の正規課程に在籍する学生は誰でも、
交流協定締結校への学生派遣に応募することができます。
交流協定に基づく派遣では、学費の相互不徴収が定められているため、
本学の授業料を納めることで留学先での授業料等は免除されます。

部局間学生交流協定制度を積極的に活用して世界の大学へ留学し、
自分の可能性をどんどん伸ばしていきましょう。

京都大学 大学院経済学研究科・経済学部
国際交流教育委員会

4

月下旬

次年度春学期
派遣留学生

募集要項発表

*SPRING
semester*

6

月下旬

次年度春学期
派遣留学生

募集締切

*SPRING
semester*

7~8

月

次年度春学期派遣留学

**推薦者選考／
決定／指名連絡**

*SPRING
semester*

11

月下旬

次年度秋学期
派遣留学生

募集要項発表

*AUTUMN
semester*

派遣留学
日程

*Study
Abroad
schedule*

10~12

月

次年度春学期派遣

留学手続き
(協定校により異なる)

*SPRING
semester*

1

月下旬

次年度秋学期
派遣留学生

募集締切

*AUTUMN
semester*

2~3

月

次年度秋学期派遣留学

**推薦者選考／
決定／指名連絡**

*AUTUMN
semester*

5~7

月

次年度秋学期派遣

留学手続き
(協定校により異なる)

*AUTUMN
semester*

派遣留学対象交流協定校一覧

国・地域	協定校	派遣人数※1	担当教員
中国	中国人民大学(経済学院) School of Economics, Renmin University of China	2	矢野 剛 教授
中国	北京大学(経済学院・光華管理学院) School of Economics / Guanghua School of Management, Peking University	各学部 1	劉 徳強 教授
台湾	国立台湾大学(社会科学院) College of Social Sciences, National Taiwan University	1	若林 直樹 教授
台湾	国立政治大学(社会科学院) The College of Social Sciences, National Chengchi University	2	岩本 武和 教授
韓国	慶北大学校 経商大学 Kyungpook National University	2	スティーブン・アイビンス 講師
タイ	タマサート大学(経済学部・国際学部) Faculty of Economics / Pridi Banomyong International College, Thammasat University	各学部 1	久野 秀二 教授
タイ	チュラロンコン大学(経済学部) Faculty of Economics, Chulalongkorn University	1	久野 秀二 教授
タイ	チェンマイ大学(経済学部) Faculty of Economics, Chiang Mai University	1	久野 秀二 教授
フィリピン	フィリピン大学ロスバニョス校 University of the Philippines Los Baños	1	久野 秀二 教授
インドネシア	ガジャマダ大学(経済経営学部) Faculty of Economics and Business, Gadjah Mada University	1	久野 秀二 教授
シンガポール	シンガポール・マネジメント大学 Singapore Management University	2	アスリ・チョルパン 教授
英国	グラスゴー大学(社会科学系カレッジ) School of Social and Political Sciences / Adam Smith Business School, The University of Glasgow	3 (大学院のみ)	黒澤 隆文 教授
ドイツ	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学(経済経営学部) Faculty of Economics and Business Administration, Goethe University Frankfurt	3	スティーブン・アイビンス 講師
ドイツ	ハイデルベルク大学 (異文化研究センター及びグローバルな文脈におけるアジア・ ヨーロッパ研究クラスター) Heidelberg University, The Heidelberg Centre For Transcultural Studies And Cluster of Excellence "Asia and Europe In A Global Context"	2~3	スティーブン・アイビンス 講師
オランダ	ワーヘニンゲン大学 Wageningen University	2	久野 秀二 教授
ベルギー	ルーヴェン・カトリック大学(経済経営学部) Faculty of Economics and Business, KU Leuven	2	久野 秀二 教授
スウェーデン	ヨンショーピング大学(国際ビジネススクール) Jönköping International Business School, Jönköping University	2	文 世一 教授
オーストラリア	クイーンズランド大学※2 The University of Queensland	1	

※1. 派遣定員は学部/大学院を合わせた年度当たり人数。

※2. 大学間学生交流協定に基づく派遣留学に応募すること。経済学部/経済学研究科特別推薦枠1名。

派遣推薦者の募集/選考は部局間交流協定の募集要項とは異なり、大学間交流協定の募集規定によるため、応募時期に注意すること。



中国 China

Renmin University of China



北京市海淀区
中関村大街59号
100872

おすすめポイント

1. 協定先である経済学院こそが中国人民大学の看板学部
2. 近隣にやはり中国のトップクラスの大学である北京大学、清華大学があり、地域一帯に学問の雰囲気がいっぱい詰まっている
3. 学生街にキャンパスがあり、学生にとって日常生活もしやすい環境

中国人民大学

中国人民大学 経済学院

中国人民大学は、日中戦争中の1937年に設立された陝北公学を前身とする中国の国家重点大学であり、人文・社会科学を主体とする中国の基幹大学です。政治家になる卒業生が非常に多いため、この大学は、「政治家のゆりかご」と呼ばれています。

協定先である経済学院は、中国政府の「国家重点級学科」に指定されている学科を数多く有しており、とりわけ理論経済学・応用経済学の研究と教育について中国で高い評判を得ています。中国政府が4年ごとに実施している教育研究評価では、2004年、2008年、2012年において理論経済学・応用経済学のトップに位置づけられました。「人大経済論壇」という総合掲示板では、経済学の議論、質疑応答、情報提供が活発になされています(<http://bbs.rdjilt.org/forum.php>)。

教授・准教授の30%以上が海外の一流大学での博士号取得者であり、国際化も進んでいます。中国人民大学の所在地は北京市海淀区の中関村です。ここは、中国人民大学のほか北京大学、清華大学が集まる優れた学術地区であるだけでなく、中国のシリコンバレーと呼ばれている地区でもあります。この地区には、中国IT産業トップの一つである「連想集団」をはじめとする数多くのIT企業、ベンチャー企業、研究所が集積しています。世界経済の主役になっている中国の、そのまた最先端の地に身を投じてみませんか。

講義での使用言語

Primary : Chinese
Secondary : English

学事暦

秋学期は通常9月初旬スタート
春学期は通常2月中旬スタート

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。

交換留学URL > <http://iso.ruc.edu.cn/English/>

北京市海淀区
頤和園路5号
100871



中国 China

▶▶▶ 北京大学 经济学院・光華管理学院

北京大学の前身は1898年に設立された京師大学堂で、辛亥革命後の1912年に北京大学に名称変更され今日に至ります。北京大学は総合大学として名実ともに中国の最高学府であり、近現代の中国社会に大きな影響を与える存在として常に注目されています。また、異なる思想や考え方に対する寛容な姿勢は自由な学風を標榜する京都大学とも相通じるものがあります。

北京大学のメインキャンパスは北京市の北西部にあり、風光明媚な頤和園や香山に近く、構内には中国の伝統的な建築が多く、文化の香りが漂う美しいキャンパスです。本学部・研究科と学生交流協定を結んだ北京大学经济学院と光華管理学院はこのメインキャンパスにあります。经济学院は1912年に設立された経済系が前身であり、1985年に经济学院として改組されました。

经济学院には、経済学、国際経済・貿易学、金融学、リスク管理・保険学、会計学、環境・資源・産業経済学など6つの学部専門分野と9つの大学院専門分野があります。一方の光華管理学院は、1985年に設立された経済管理系を前身として、1994年に光華管理学院に名称変更されました。現在の光華管理学院には、会計学学科、応用経済学科、ビジネス統計・経済計量学科、金融学科、経営科学・情報システム学科、マーケティング学科、組織・戦略管理学科など7つの学部専門分野があります。大学院では、通常の修士と博士課程の他、MBAやEMBAなどの課程もあります。光華管理学院は、2012年のFinancial TimesによるMBA世界ランキングで100位以内に入った中国唯一の学院です。

北京大学

📅 学事暦

秋学期 9月から1月まで
春学期 2月から6月まで

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。

おすすめポイント

1. 中国の最高学府
2. 自由・寛容な学習環境
3. 美しいキャンパス

Peking University





台湾 Taiwan

106 17 台北市大安区
羅斯福路四段1号

National Taiwan University

國立臺灣大學



▶▶▶ 国立台湾大学 社会科学学院

国立台湾大学は、日本統治時代の1928年に設立された台北帝国大学を前身とする、台湾の最高学府であり、李登輝や馬英九といった中華民国総統など、台湾のエリートを数多く輩出しています。この大学は徐々に拡張され、現在は11の学院と33,000人を超える学生を抱える巨大な大学になっています。

台北市は、台湾経済における金融、メディア、通信の中心地です。都心には、日本統治時代の建築物が保存されている一方で、副都心には、超高層ビル「台北101」など近代的な高層ビルが立ち並んでいます。台北市最寄りの国際空港は台湾桃園国際空港です。この空港から台北市街へは、バスで約50分で行きます（現在建設中の鉄道が完成すると約35分に短縮されます）。関西空港からLCCを使うと安ければ6000円台、約2時間で台北に到着するので、渡航費用や渡航時の疲労がとてもなく済みます。

主な交換の相手先は、社会科学学院経済学科となります。学部・大学院ともに経済学教育において、大変充実した標準的な英語講義カリキュラムを整備しており、様々な国からの交換学生が来ております。中国語が出来る人は中国語での講義も受講可能です。また留学生向けの中国語の研修プログラムも充実しています。



学事暦

September Entry : September - January

February Entry : February - June

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。

おすすめポイント

1. 多くの留学生と学べる国際的なキャンパス
2. 中国語と英語の両方を学べる機会
3. 国際ビジネス分野で最先端の教育研究

交換留学URL > <http://www.oia.ntu.edu.tw/study-at-ntu/incoming-exchange-student/exchange-student-program>



国立政治大学は、1927年に初代学長でもある蒋介石が国民党政府の官僚養成学校として中国・南京に設立され、1954年に台湾・台北に移設された総合大学です。人文科学、社会科学、経営学の分野で特に秀でた学位プログラムを提供しています。また、英語で提供される科目が非常に充実しています。国立政治大学は台北郊外に位置し、山と川に囲まれた自然豊かなキャンパスとなっています。

本研究科・学部と協定を締結している社会科学院(College of Social Sciences)は、経済学科、財政学科、土地経済学科、政治経済学科、社会学科、行政学科、民族学科の7つの学科(department、それぞれの学科が日本では学部に対応する規模)、および3つの大学院専攻、4つの学位プログラムを持っています。日本の一橋大学、英国のロンドン・スクール・オブ・エコノミクスのように、文系の教育・研究に特化している国立政治大学のなかで、社会科学院はフラッグシップ的な地位にあります。

なお、国立政治大学(NCCU)、国立台湾大学(NTU)、阪大経済、京大経済の4つの研究科で、毎年ホスト校を変えて、教員セミナーを開催しており、研究交流も盛んに行っております。

- 国立政治大学URL > <http://www.css.nccu.edu.tw/>
- 交換留学URL > <http://www.css-en.nccu.edu.tw/student-exchange-program>

おすすめポイント

1. 質の高い教育内容とレベルの高い教授陣
2. 充実した英語プログラム*
3. 台北市のダウンタウンから近く、生活に便利

※ IDS(International Doctor Program in Asia-Pacific Studies)、IMES(International Master's Program in Applied Economics and Social Development)、IMAS(International Master's Program in Asia-Pacific Studies)など

11605 台北市文山区
指南路2段64番

National Chengchi University

國立政治大學



📅 学事曆

- 秋学期(Fall semester): 9月中旬~1月中旬(期末試験:1月中旬)
- 春学期(Spring semester): 2月下旬~6月下旬(期末試験:6月下旬)
- 学期開始前にオリエンテーション。

※最新の学事曆は大学ホームページを確認のこと。

協定校紹介

募集要項



韓国 South Korea

Kyungpook National University



*Kyungpook National University
80 Daehakro, Bukgu, Daegu
41566, Republic of Korea.*

講義での使用言語

Primary: Korean
Secondary: English

学事暦

春学期：3月～6月中旬

秋学期：9月～12月中旬

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。

慶北大学校 経商大学

慶北大学校は韓国第4の都市である大邱(テグ)において長年にわたって高度な教育を施してきた機関から派生し、1946年に創立されました。慶北大学校にある17の学部および大学院(66の学科)は質の高い教育と研究で知られ、40,000人近くの学生が学び、約1,200人の常勤教職員が勤務しています。京都大学経済学研究科は慶北大学校の経商大学と学生交流協定を結んでいるため、学生は1学期滞在することができます。

慶北大学校はサムスンやLGといった企業関連の工場がある工業地域として重要な位置を占める大邱(テグ)にあることから、韓国の活気ある経済を学ぶには最適な場所です。このことは民間企業とのつながりや連携を重視する経商大学の教員たちが実地的経験を積み、韓国における様々な経済問題や企業経営の知識を持っていることから伺えます。そのため、留学生を含む学生には学業に携わりながら韓国のトップ企業でのインターンに参加する機会が多く与えられています。

おすすめポイント

1. ビジネスに強く、産学連携が盛ん
2. 韓国の生活や文化を体験できる
歴史な街
3. 落ち着いた雰囲気に住みやすく、ソウルやプサンといった大都市へのアクセスが便利

交換留学URL > <http://en.knu.ac.kr/campus/life03.htm>



タイ Thailand

▶▶▶ タマサート大学 経済学部・国際学部・政治学部

タマサート大学はタイで2番目に古い歴史をもつ大学で、タイ国内のランキングは10位以内、とくに法政系の国立大学として設置された経緯もあり、社会科学分野は3位以内のトップレベル大学です。バンコク郊外に広大なランシット・キャンパスを有しますが、本研究科・学部と交流協定を締結している国際学部ならびに経済学部国際プログラムの教育は、大学本部が置かれ、タイの政治と文化の中心地(オールド・バンコク)に近いタープラチャン・キャンパスで行われます。

経済学部には、修士課程はもちろん、学士課程でも英語で教育が行われる国際プログラムが設けられており、金融経済学、国際経済学、公共経済学、環境経済学などの応用経済学分野、国際貿易を中心とする「法と経済」分野の教育プログラムに強みがあります。同大学の創設者で、タイの民主化に大きな役割を果たしたPridi Banomyong氏の名前を冠した国際学部(PBIC)は2008年に新しく設置された

学部です。学部プログラムのタイ研究、中国研究、インド研究、修士プログラムのASEAN研究では、語学教育はもちろん、政治、経済、歴史、文化など多角的な視点から各国・地域に関する専門的教育が行われています。とくに経済学研究科・東アジア持続的経済発展研究プログラムと友好関係にあるASEANプログラムは主に社会人を対象にした高度職業人養成プログラムとしての性格も併せ持ち、ASEAN内外からの留学生も多いため、本学の学生にとっても、多様な学生と出会い幅広い人的ネットワークを形成する絶好の機会となるでしょう。なお、授業は週末に集中して行われるため、平日は経済学部の学部・修士課程で提供される科目を履修することも可能です。

政治学部を新たに加えた3学部との包括的部局間交流協定への切り替えを準備しているところです(2017年11月現在)。

交換留学URL > <http://inter.tu.ac.th>

Faculty of Economics,
Thammasat University (The Prachan Campus),
2 Prachan Road, Phranakorn, Bangkok 10200, Thailand.

  Pridi Banomyong International College,
Thammasat University, 2 Prachan Road, Phranakorn,
Bangkok 10200 Thailand.

Thammasat University

มหาวิทยาลัยธรรมศาสตร์



学事暦

Semester 1 : August - December

Semester 2 : January - May

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。

おすすめポイント

1. タイの政治と文化の中心地(オールド・バンコク)に近いタープラチャン・キャンパス
2. 経済学から政治学、人文学まで幅広くカバーし、文化的多様性と経済的成長を特徴とするタイとASEANをフィールドにした教育と研究
3. 英語で提供される充実した国際教育プログラム





タイ Thailand

จุฬาลงกรณ์มหาวิทยาลัย

Chulalongkorn University

Faculty of Economics,
Chulalongkorn University, Phayathai Road,
Bangkok 10330, Thailand

おすすめポイント

研究志向を強めるタイのトップ
1. 大学で、優秀な学生・教員との
交流が期待できる

2. モダンなショッピング・モールや
オフィスビルが立ち並ぶ商業
中心地に隣接

3. 国際経済学、ビジネス経済学、
労働経済学、医療経済学などの
分野に強み

▶▶▶ チュラロンコーン大学 経済学部

チュラロンコーン大学は1917年に創設され、タイでもっとも古い歴史をもつ大学です。現在は19の学部と多数の研究施設を擁し、タイ国内のランキングは1位、社会科学分野でもタマサート大学と並ぶトップレベル大学です。キャンパスはバンコク市街、モダンなショッピング・モールやオフィスビルが立ち並ぶ商業の中心地に隣接しており、スカイレールやメトロをはじめとする公共交通機関での移動が容易です。タイ王室ともゆかりが深く、豊富な資金を元にASEAN随一の研究志向大学として急成長しています。

本研究科・学部が交流協定を締結している同大学経済学部には、学士課程に国際プログラム、修士課程に複数の国際プログラムがあります。前者はASEAN大学連合(AUN)の国際認証を取得した最初の経済学教育プログラムで、ASEAN域内はもちろん、学生交流協定を締結しているアジアやヨーロッパの大学との間で交換留学生の往来も活発です。後者にはビジネス経済学、国際経済学、労働経済学、医療経済学などが含まれ、本学経済学研究科・東アジア持続的経済発展研究プログラムの開発経済・移行経済学分野(Track#3)が将来的な国際連携教育プログラムのパートナーの一つとして関係強化を図っているところ。また、タイ語ながら、

政治経済学・社会経済学の修士プログラムも提供されており、そうした懐の深さと多様性も同大学経済学部の魅力の一つです。

交換留学URL(学部) > <http://www.eba.econ.chula.ac.th/inter/exchange/incoming>

交換留学URL(大学院) > <http://www.econ.chula.ac.th/graduate>

📅 学事暦

学部

1st Semester : August - December

2nd Semester : January - May

大学院

1st Semester : August - November

2nd Semester : December - March

3rd Semester : April - July

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。

▶▶▶ チェンマイ大学

経済学部



タイ Thailand

チェンマイはタイ北部に位置し、ベトナムとミャンマーを結ぶ東西回廊、中国とタイを結ぶ南北回廊の交差するメコン地域の要衝として、経済交流や文化交流が歴史的に活発で、今後の飛躍的發展が期待される地域でもあります。比較的温和な気候と豊かな自然が世界中から多くの観光客を惹きつけ、国際観光都市としても有名です。

チェンマイ大学は1964年に国立地方大学として創立され、現在では20の学部、2つのカレッジ、3つの研究所を擁し、北部随一の規模を誇っています。国内の大学ランキングでも、チュラロンコーン大学、マヒドン大学とともにトップ3を争う拠点大学の一つです。学部では3つ、大学院では19の国際プログラムを提供し、約140の海外提携校と活発な交流を行う国際的な大学です。本学経済学部・研究科が提携する同大学経済学部も立地するメインキャンパスは、市内中心部から西に5キロしか離れていませんが、緑豊かで教育研究活動にふさわしい環境に恵まれています。経済学部の教員は約40名ですが、それ以外に数多くの外国人教員を招聘し、国際水準の教育研究活動が営まれています。国際貿易、農業開発、貧困削減、

観光産業、物流管理、地域経済など地域的優位性を活かした分野はもちろん、計量経済学分野にも力を入れています。本研究科・学部とは交流協定を締結しておりませんが、人文学部には日本研究センターが、社会科学部には社会科学・持続的發展研究センターが併設されており、学際的・国際比較的な視点から研究活動に取り組みたい大学院生にはとくにお薦めです。

交換留学URL(大学) > <https://www.cmu.ac.th/en/engaboutcmusub.php?id=14&subid=4>



学事暦

The University academic year is divided into two 18-week semesters, and, for some courses, an eight-week summer session.

First semester : August to mid-December

Second semester : January to mid-May

Summer session : mid-May to mid-July

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。

239 HuayKaew Road, Suthep, Muang,
Chiang Mai 50200

มหาวิทยาลัยเชียงใหม่

Chiang Mai University

おすすめポイント

1. 比較的温和な気候と豊かな自然に恵まれた国際観光都市
2. タイのトップ3大学、全世界250以上の提携校と活発な交流を行う国際的な大学
3. 国際貿易、農業開発、貧困削減、観光産業、物流管理、地域経済など地域的優位性を活かした教育研究プログラム



フィリピン
Philippines

University of the Philippines Los Baños

Unibersidad ng Pilipinas



University of the Philippines
Los Baños College,
Laguna 4031 The Philippines.

学事暦

1st Semester : August – December

2nd Semester : January – May

Midyear : June – July

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。

フィリピン大学 ロスバニョス校

フィリピン大学ロスバニョス校はディリマン校を中心とする8大学で構成されるフィリピン大学システムの一つで、医学部を中心とするマニラ校に次ぐ古い歴史(1909年)を有します。国際農業研究協議グループ(CGIAR)の中核の一つで、イネの品種改良を通じて1960~70年代にアジア地域の「緑の革命」で大きな役割を果たした国際稲研究所(IRRI)に敷地と施設を提供していることからわかるように、ロスバニョス校は農業分野で卓越したフィリピン随一の高等教育研究機関です。

社会科学分野では経済学や経営学の幅広い分野の教育と研究が行われていますが、農業分野はもちろん、開発分野や環境分野でも充実したカリキュラムが提供されています。本研究科・学部との交流協定はロスバニョス校全体をカバーしており、Economics and Management以外では、Development Communication、Public Affairs and Development、Environment and Natural Resource Economicsなどのプログラムに参加することが可能です。他のASEAN諸国からの留学生も多く、域内外で約70の協定校を擁するなど、ロスバニョス校のキャンパスは国際的な雰囲気を醸し出しており、本学の学生にとっても有意義な交換留学生活を送れるでしょう。

おすすめポイント

1. ASEAN地域における農業教育研究拠点の一つ
2. 農業・環境・開発に関連した、経済学・経営学を中心とする社会科学領域に強み
3. ASEAN域内外で多数の交流協定を締結、多くの留学生が学ぶ国際的な教育研究環境

交換留学URL > <https://uplb.edu.ph/partner-academics>

▶▶▶ ガジャマダ大学 経済経営学部



インドネシア
Indonesia

ガジャマダ大学が立地するジョグジャカルタはインドネシアの古都として知られ、スルタンが特別州の知事を務めるなど独自の文化を保ち続ける観光都市の顔と、ガジャマダ大学をはじめとする高等教育機関が集積する学術教育都市の顔を併せ持っています。それは、ジョグジャカルタ特別州が京都府の姉妹都市であることから分かります。

ガジャマダ大学は1949年に設立されたインドネシア最古かつ最大の国立総合大学で、インドネシア大学、バンドン工科大学とともにインドネシアのトップ3を競い合う拠点大学です。18学部の一つ、経済経営学部は約200名の教授陣と5500名の学生を擁する大きな学部で、経済学科、経営学科、会計学科の3学科で構成されます。海外の数多くの大学と交流協定を締結するなど教育・研究の国際化に積極的に取り組んでおり、学士課程ではフローニンゲン大学(オランダ)、エラスムス大学(オランダ)、プフォルツハイム大学(ドイツ)、メルボルン大学(オーストラリア)、ESCEM経営学院(フランス)とダブルディグリー制度を設けています。経営学科・会計学科を中心に産学連携にも熱心で、多くの寄付金をもとに充実した教育研究環境が整備されています。他方、修士課程の開発経済学専攻では若手公務員を対象にした地域開発計画、地域産業、金融財政、資産管理、事業評価などに関する専門教育プログラムも行われています。

おすすめポイント

観光都市の顔と学術教育都市の

顔を併せ持つインドネシアの
古都に立地する、同国最古・最大の
国立総合大学

産学連携にも熱心で、多くの
寄付金をもとに充実した教育
研究環境を整備

修士課程では若手公務員を
対象にした開発計画・地域産業・
資産管理・事業評価などに関する
専門教育プログラムも提供

Jln. Sosio Humaniora No.1 Bulaksumur,
Yogyakarta, 55281 Indonesia



学事暦

1st Semester : August - December

2nd Semester : January - May/June

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。

UNIVERSITAS GADJAH MADA

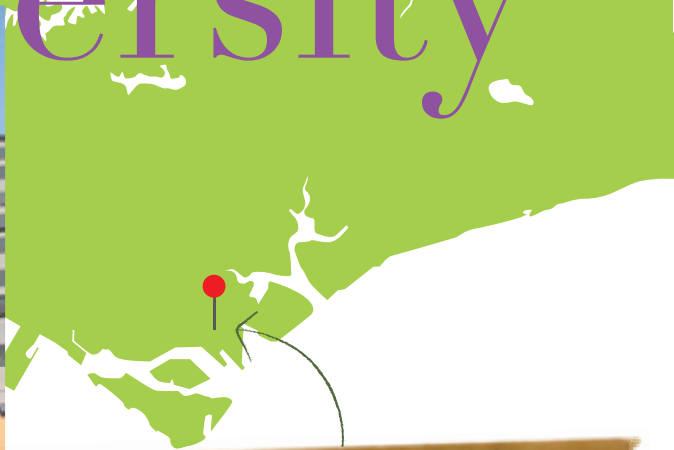
Gadjah Mada University





シンガポール
Singapore

Singapore Management University



Administration Building, Singapore
Management University, 81 Victoria
Street, Singapore 188065

▶▶ シンガポール・マネジメント大学

シンガポール・マネジメント大学(中国語では新嘉坡管理大学)は、世界MBAランキングで長年にわたり高い評価を受けてきた米国ウォートン・スクールをモデルに、シンガポール政府が出資して2000年に設立した新しい大学ですが、実業界との深いつながりを活かし、世界最高水準で提供される高密度の教育研究活動に定評があります。2017年のQS大学ランキングで専門職系大学として世界11位、UTDビジネススクール・ランキングで世界40位・アジア2位、TU経済学分野ランキングで世界64位・アジア4位、BYU会計学分野ランキングで世界15位・アジア1位と、その国際的評価は新設校としては稀にみる高さです。

なお、キャンパスは市内中心部に立地しているため、利便性は抜群です。

経済学以外に、会計学、経営管理学、情報システム学、法学、社会科学の計6学部がありますが、学部を跨いだ二つの主専攻(学内ダブルディグリー)や副専攻が推奨されるなど、学際的な学習環境が整えられています。約7800名の学部学生、1750名の大学院学生に対して350名のフルタイム教授陣を擁する同大学は、少人数制のゼミ形式での教育を特徴としています。そのため、交換留学生が履修できる科目は修士院生であっても学部専門課程向けの授業に限られますが、学部・プログラムを跨いで多様な分野の科目を履修することができる上、高い水準の教育研究環境は十分に保障されています。国際連携教育も活発で、50ヶ国200以上の大学と交流協定を締結し、毎年1000名の交換留学生が同大学で学ぶとともに、同大学の学生も海外の提携校に積極的に留学しています。シンガポールというお国柄もありますが、教授陣の半数近くが国外出身者で占められています。



学事暦

Fall Term/Term 1 :
late August to early December

Spring Term/Term 2 :
early January to late April

Summer Term/Term 3A & 3B :
late April to mid-July

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。

おすすめポイント

実業界との深いつながりを活かし、

1. 世界最高水準で提供される高密度の教育研究活動に定評

市内中心部に立地するキャンパス、

2. 学生の勉学と生活を支える充実した施設

双方向・少人数の教育環境で、

3. 世界中から集まる教授陣や学生たちと交流を深められる

交換留学URL > <http://www.smu.edu.sg/global/global-programmes/international-exchange/incoming-exchange-students>

▶▶▶ グラスゴー大学 社会科学系カレッジ



スコットランド (英国)
Scotland (UK)

グラスゴー大学は、1451年に設立された英語圏で4番目に古い大学です。2018年THE世界大学ランキングでは80位に選ばれました。140カ国以上から留学生の集まる国際的な大学です。特に、本研究科・学部の手先となる社会科学系(カレッジ)は、グラスゴー大学のカレッジの中で最も外国人教職員・留学生の多いところです。アダム・スミス・ビジネススクールを擁するこの大学はアダム・スミスの母校であり勤務校で、ビジネス・ヒストリー分野で欧州最大の拠点です。同分野では、京都大学との間でダブル・ディグリー協定が結ばれており(2018年4月入学生より適用)、両大学で2年ずつ研究に従事することで二つの学位(博士号)が取得できます。

グラスゴーはスコットランドの首都エジンバラから電車で約1時間のところに位置します。音楽・建築・バレエ・ファッション等の見所や、多くの博物館・美術館もあり、また国際色あふれた食文化も楽しめます。留学中の余暇を利用して、グラスゴー郊外の自然を楽しむのもお勧めです。

おすすめポイント

1. 1451年設立の伝統校、アダム・スミスの母校
2. 国際的なキャンパスとダブル・ディグリー(博士課程)
3. 芸術的・文化的な見所に溢れた都市



学事暦

Semester 1 :
September - December

Semester 2 :
January - May

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。

University Avenue
West End, Glasgow G12 8QQ,
Scotland

University of Glasgow





ドイツ Germany

Goethe University

Johann Wolfgang Goethe-Universität

Faculty of Economics and Business
Administration, Campus Westend,
Grüneburgplatz 1 D-60323
Frankfurt am Main



ヨハン・ヴォルフガング・

▶▶▶ ゲーテ大学 経済経営学部

ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学(以下、ゲーテ大学)は、1901年設立の社会・商学科学アカデミーが母体になって1914年に創立され、現在では学生数ドイツ(3万人超)の総合大学です。経済経営学部のキャンパスは、フランクフルトのヴェストエンドにあり、その本部には、かつてドイツ最大級の化学メーカー本社で、敗戦後にはアメリカ占領本部となっていた歴史ある建物がそのまま使われています。

フランクフルトは、交通の要衝として栄えた商業都市であり、現在では、世界最大級のハブ空港を擁するほか、ヨーロッパの金融の中心を担っています。ドイツ銀行、コメルツ銀行、DZ銀行の本社、欧州中央銀行はどれもこのフランクフルトに位置します。それゆえに、ゲーテ大学経済経営学部は、とりわけ金融分野の授業や銀行寄付によるセミナーが充実しています。フランクフルトは、ヨーロッパ経済の風向きを肌で感じられるのももちろんのこと、美術館や劇場で芸術を鑑賞する、ビールやソーセージ(日本でいう「フランクフルト」)を味わうなど、ヨーロッパらしい生活を楽しめる都市でもあります。

交換留学URL > <http://www.wiwi.uni-frankfurt.de/en/international/international-exchange-students.html>

おすすめポイント

1. 金融分野で最先端の教育研究
2. 国際的なキャンパス
3. 金融・産業・交通の中心地で学ぶ魅力



学事暦

Summer Semester : April - July
Winter Semester : October - February

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。

留学の 概要と成果

Bericht über mein
Studium in Deutschland

氏名 ▶ Kさん

学年 ▶ 博士課程2年(当時)

留学期間 ▶ 2013年9月～2014年2月(秋学期)

私は、博士課程においてドイツの労使関係について研究をしていました。私がドイツ・フランクフルトのゲーテ大学に留学した理由は、フランクフルトにドイツ最大の労組IGメタルの本部があるからです。私の留学の目的は論文執筆のための現地調査だったので、大学の講義には出席せずに、日々IGメタル本部において組合員への聴取やアーカイブでの情報収集に努めていました。ただし、ゲーテ大学の教員数人とは、定期的にランチをとりながら、自分の研究を説明し、アドバイスを受けていました。

ゲーテ大学の学生寮からトラムに乗ってIGメタルに毎日足を運び、組合員とたくさん話をしました。その内容は、研究の論点だけでなく、組合員が仕事や生活において日々感じていることにも及びました。組合員たちの感性やプライドといった価値観に踏み込んで調査できたことで、論文の問題設定や質が高まったように思います。留学で得た情報をもとに作成した論文は、当の組合員やドイツ人研究者、ヨーロッパ人研究者たちから、好評をえました。

くわえて、お決まりの成果ですが、(1)ドイツの右から左まで幅の広い各種新聞や研究機関の報告書に接したため、日本のメディアに対する批判的視点を得ることができました。(2)ヨーロッパ人と政治、宗教、経済、仕事、生活の話をする楽しみを覚えました。そのおかげで、例えば、先日訪問したフィンランドのアールト大学では、研究者たちやその家族と、以下についてどのように考えているかについて、怒り、笑い、自虐を交えながら、楽しむことができました。それは、スウェーデンやロシアといった隣国、欧州連合、統一通貨、移民、治安です。私たちは、当事者たちがこうした問題について「どう感じているか」を研究論文から窺い知ることは困難です。私は、このような会話を情報源の一つとして、人々の価値観にまで踏み込んだ研究を続けたいと思っています。

TIPS!

これから留学する 後輩へのアドバイス

外国事例を研究する院生なら当然のこと、日本のことや統計データのみに関心がある院生であっても、世界の研究ネットワークにおける自分の立ち位置を模索することは必要です。留学はそのネットワークを構築したり、参入するための第一歩になります。いろいろな負の思い、例えば、博士課程の大切な時間を奪われる、不安だ、面倒だ、などがあると思います。私もそうでした。でも、研究者としての器を大きくしようと望むならば、部局間交換留学など経済学研究科が用意してくれている機会をぜひ活用してください。





ドイツ Germany

Heidelberg University

Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg

Karl Jaspers Centre for
Advanced Transcultural
Studies Voßstraße 2,
Building 4400, 69115
Heidelberg Germany



学事歴

Summer Semester : April to September

(Lecture period : mid-April to late July)

Winter Semester : October to March

(Lecture period : mid-October to mid-February)

※最新の学事歴は大学ホームページを確認のこと。

おすすめポイント

14世紀に創設されたドイツ最古の大学。

1. フランクフルトから鉄道で1時間ながら、古き良きドイツを堪能できる古城の町

ヘーゲル、ウェーバー、ハーバース、ヤスパースなど人文社会科学の巨匠も教鞭を執っていた大学

3. 協定を締結しているアジア・ヨーロッパ研究クラスターを中心とした学際的な人文社会科学研究に定評



▶▶▶ ハイデルベルク大学

異文化研究センター及びグローバルな文脈におけるアジア・ヨーロッパ研究クラスター

ハイデルベルク大学は、1386年に創設されたドイツ最古の大学であり、ベルリン大学と並ぶドイツ有数の世界的な大学です。この大学は、ドイツにおけるエクセレンス・イニシアティブに選ばれた11大学のうちの1つです。2016年THE世界大学ランキングでは37位に選ばれました。

ハイデルベルク大学は、人文科学において世界的に有名な教授が数多く教鞭をとっています。例えば、ゲオルグ・ヘーゲル、マックス・ウェーバー、ユルゲン・ハーバース、カール・ヤスパースが挙げられます。本学研究所と協定を結んでいるアジア・ヨーロッパ研究クラスターは、このカール・ヤスパースの名前を冠した建物にあります。

ハイデルベルクは、ヨーロッパ最大のハブ空港をもつフランクフルトから電車で約1時間のところに位置します。城址と大学を中心に街全体が観光地となっており、世界中から旅行者が集まります。日本の観光者にとって、ハイデルベルクは、古き良きドイツを想起させる街であり、「古城めぐり」の中でも最も人気のある街です。ぜひ、この深い教養の漂う街に留学して、街から、大学から、よい影響を受けてください。

交換留学URL > http://www.uni-heidelberg.de/courses/prospective/admission_int/guide/online_guide_index.html

授業について about class

私は3つの講義・演習に参加しました。いずれも20人あまりで古典を輪読する授業です。主役は先生よりも、むしろ学生です。私は授業に参加して、ドイツ人学生の積極的に発言する意欲、論理的に述べる力に驚きました。また、女子学生が55%を占めるこの大学では、女子学生が討論で滔々と自分の意見を述べます。これは、日本ではめったに見られない光景です。先生たちの雰囲気も日本と違います。例えば、ハイデルベルク大学の経済史分野の教授は、ときどき片一方の足を椅子の上に乗せたまま講義をしたり、机の上に座って授業をします。ヨーロッパでは、先生と学生との飲み会がありません。先生と学生が酒を飲みかわしながら学問や人生を議論することは、日本だけのことです。

生活について about life

一番の変化は、考えることが増え、視界が広がったことです。当たり前のことが当たり前でない世界に身を置くことは、自分の先入観を取り払い、まっさらな目で、世の中のものを見て、観察し、考える作業ができるようになりました。また、幸か不幸か、私の滞在中に、隣の国のフランス、パリでテロがあったことで、考えることの幅がぐっと広がり、また、国籍の違う人と同じ話題を共有して話し合うことでいろんな気づきを得ることができました。これこそが、留学の醍醐味であるのかなと、感じている次第です。

留学の 概要と成果

**Bericht über mein
Studium in Deutschland**

氏名 ▶ Nさん、Sさん
学年 ▶ 学部3回生
留学期間 ▶ 2015年9月～
2016年2月(1学期)

TIPS!

これから留学する 後輩へのアドバイス

女子学生の皆さん、積極的に交換留学を応募してください。ドイツは男女平等の国です。大学に、女子学生の数は男子より多く、女性の先生もたくさんおられますよ。ドイツのお国柄たる哲学・音楽に触れてください。ドイツ人にとって、クラシック音楽会は高級なものではありません。私は時間をみつけて、ハイデルベルクのさまざまな場所で開催されている定例の音楽会に行きました。とにかく、前のめりになること、ただし、留学でしかできないことをしなきゃ、という義務感を捨てること。ためらいの感情は、留学だけでなく、どこにおいても不要です。また、やりたいことを貪欲に追い求めて行動するのは素晴らしいことですが、何か制限を設けるのはもったいないと思います。例えば、語学力向上のために日本人との接触を断つ、これは、ストレスフルですが、いろんな気づきを得ることができ、また、自分を客観視することも可能です。これは、日本にいるとなかなかできない、貴重な機会だと思います。

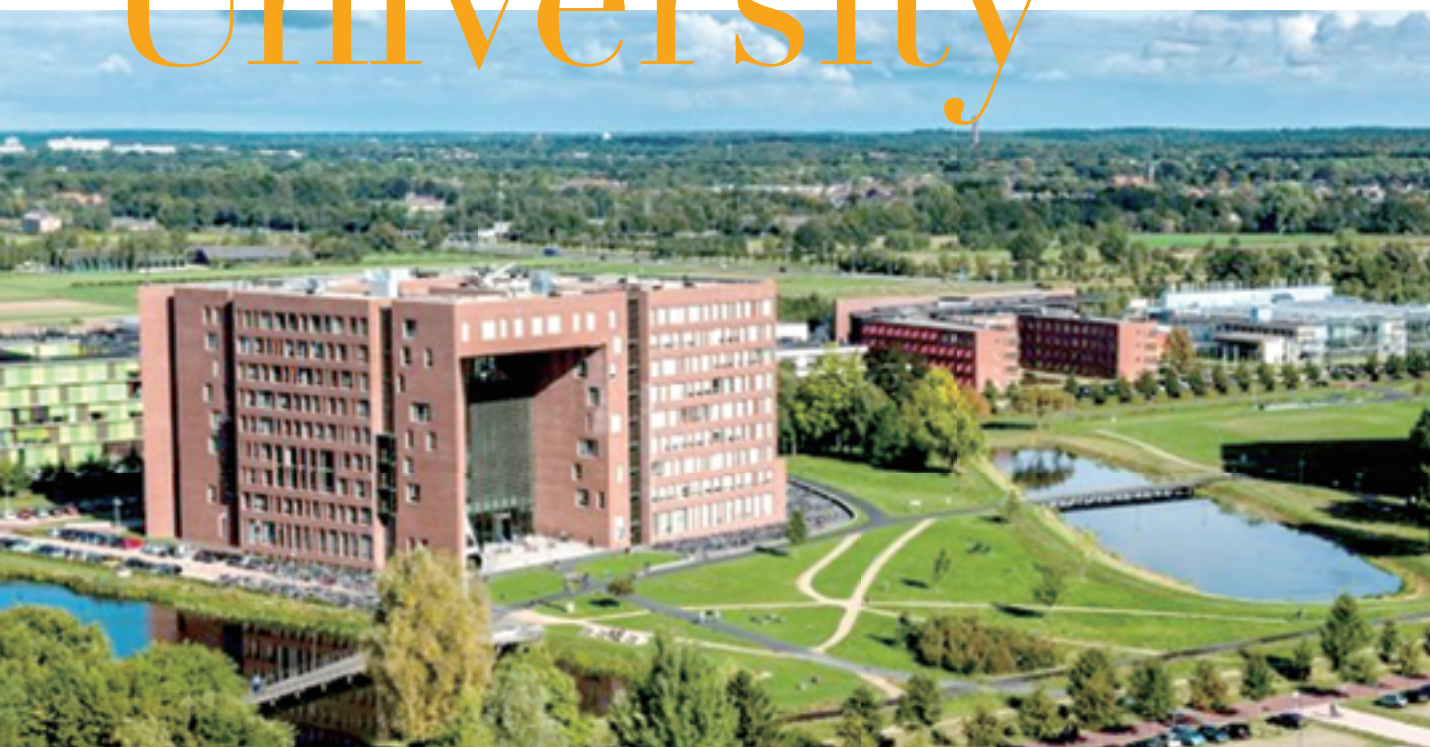




オランダ Netherlands

Droevendaalsesteeg 4,
6708 PB Wageningen

Wageningen University



▶▶▶ ワーヘニンゲン大学

ワーヘニンゲン大学の前身は1918年に設立された農業大学ですが、1997年に国立農業研究機関群と合併してWageningen University & Research Centre (WUR)に改組されました。研究機関群、大学、高等農業専門学校がそれぞれ独立した組織形態をとりつつも、5つの専門分野——植物科学、動物科学、食品科学、環境科学、社会科学——とクロスしながら相互に密接な連携が図られており、近年は「Food Valley」に代表されるような産官学連携にも力を入れています。農業・食料・環境分野では、世界最高峰の教育研究機関として高く評価されています。2018年度のTHE大学ランキングでは世界64位、QS大学ランキングでは農林分野で1位、環境分野で6位、開発分野では13位となっています。オランダの学生による大学評価では長年にわたり首位の座を維持しています。

社会科学分野には、①Business, Consumer and Competence Studies, ②Management Decision Support, ③Economics, ④Sociology and Anthropology of Development, ⑤Sociology and Governance, ⑥Communication, Philosophy and

Technology、の6つの研究ユニットがありますが、科目履修だけでなく論文研究も含めて交換留学を希望する修士課程の大学院生については、(1) Applied Communication Science, (2) Development and Rural Innovation, (3) International Development Studies, (4) Management, Economics and Consumer Studies の4つの修士プログラムのうち、(3)に関与する④⑤⑥の諸グループ、博士後期課程の大学院生については④の農村社会学・開発社会学グループへの派遣を優先します。全学生の4分の1を100ヶ国以上からの留学生が占め、学際的な教育研究プログラムと合わせ、多様な学生と出会える機会となるでしょう。

ワーヘニンゲンは広大な国立自然公園とライン川(ネーデルライン)を擁するヘルターランド州の中西部に位置し、豊かな田園風景を楽しむことができます。もちろん、公共交通機関を使えば約1時間でコスモポリタン都市アムステルダムに行くことができます。

交換留学URL > <http://www.wur.nl/en/Education-Programmes/Study-Abroad-and-Exchange-Students/Incoming-students-to-Wageningen-University.htm>

学事暦

- Period 1 : September to October
- Period 2 : November to December
- Period 3 : January
- Period 4 : late February to mid-March
- Period 5 : late March to early May
- Period 6 : mid-May to early July

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。

おすすめポイント

- 農業・食料・環境分野では世界最高峰。
オランダでは学生による大学評価ランキングで不動の1位
- 全学生の4分の1を100カ国以上からの留学生が占めるキャンパス内はもちろん、オランダは都市部でも農村部でも英語が通用する
- 自然豊かな田園都市。ユトレヒトやアムステルダムにも公共交通機関で容易にアクセス可能

留学の概要と成果

Van de studie in het buitenland
Overzicht en prestaties

氏名 ▶ Sさん
学年 ▶ 3 回生
留学期間 ▶ 2016年8月～



この大学での留学生生活は大変有意義で充実しています。とくにオランダを含むさまざまな国の学生との交流では新しい考え方や視点を得ることができ、私の価値観や今後の人生設計が大きく変わったように感じます。そして何よりお互いの身の上話や国勢を紹介したり冗談を言い合ったりする日々の生活は本当に楽しいです。

授業について about class

ワーヘニンゲン大学では交換留学生はあらゆる授業を取ることができます。私は日本でビジネス分野におけるイノベーションを専攻していたのでそれに関する授業や、農業や開発経済などに関する授業も受講しています。授業はグループワークが中心です。英語での議論は大変ですが、インタラクティブなので講義内容が定着しやすく英語も鍛えることができます。

生活について about life

ワーヘニンゲン大学には多くの学生団体やサークルが存在し、授業後や休日に勉強会や食事会など多様なイベントを開いています。それらに参加することで新たな知識を得たり新しく友だちができるため、よく参加しています。また、ほとんどの寮でキッチンシェアするので同じフロアの友だちと仲良くなりますし、さまざまな国の料理を作れるようになります。

TIPS!

これから留学する後輩へのアドバイス

留学するにあたってさまざまな国の学生と話す機会があると思いますが、英語が話せるかどうかよりも、英語の発音、大きな表情及び社交性の方が大事です。とくに日本人を含むアジア人学生で違う地域圏出身の学生との会話に苦戦している人をよく見かけましたが、上記の三つが足りていないように感じました。貴重な一日一日を大切に、そして思う存分楽しんでください。



ベルギー Belgium

*Faculty of Economics and Business, Campus Antwerp,
KU Leuven, Korte Nieuwstraat 33, 2000 Antwerp, Belgium*

University of Leuven

Katholieke Universiteit Leuven



ルーフヴェン・カトリック大学

経済経営学部

ルーフヴェン・カトリック大学(以下、KULルーフヴェン)は1425年に創立されたベルギー最古・最大の大学で、2017 / 18年のTHE大学ランキングで47位の世界トップレベル大学です。本研究科・学部と交流協定を締結している経済経営学部はルーフヴェン、ブリュッセル、アントワープ、コルトレイクの4つのキャンパスに分かれて経済学・経営学分野の教育と研究が行われています。学士課程の国際プログラムはブリュッセル・キャンパスですが、修士課程の国際プログラムはルーフヴェン・キャンパスを中心にコルトレイクを除く3キャンパスに跨っています。とくに経営学分野の国際競争力・国際的

交換留学URL > <https://www.kuleuven.be/english/admissions/exchange>



*Faculty of Economics and Business,
Campus Leuven/ Kortrijk,
Naamsestraat 61, 3000 Leuven, Belgium*

*Faculty of Economics and Business,
Campus Brussels, KU Leuven, Warmaesberg 26,
1000 Brussel, Belgium*

評価が高く、欧州首都圏という立地上の優位性を活かして、欧州および国際的な経済政策・経営戦略に熟知した専門家を教授陣に多数擁しています。

4つのキャンパスともベルギー北部、オランダ語(フラマン語)圏に立地しており、1968年に分岐したフランス語圏のルーヴェン・カトリック大学(UCL)と地域的にすみ分けていますが、ドイツ語を含め3カ国語を公用語とするベルギーの首都であり欧州の首都でもある国際都市ブリュッセルに代表されるように、英語がどこでも通用します。KULルーヴェンも国際化を強く志向しており、経済経営学部にも多数の留学生が在籍するとともに、世界各地のトップレベル大学と締結した交流協定にもとづいて多数の交換留学生が学んでいます。陸路及び空路でパリ、ロンドン、アムステルダム等のヨーロッパ主要都市に比較的容易に訪れることができるので、本研究科・学部の学生にとっても魅力的な留学先となるでしょう。

経済経営学部の教育目的は、将来の企業家、政策立案者、研究者を育成することであり、とりわけ、実務の世界と学問の世界との相互作用を重んじています。幅広い学識をもった実務家、公務員、学者を養成するため、戦略、イノベーション、会計、金融、企業家精神、マーケティング、オペレーションズ・リサーチ、人的資源管理から、一般的な経済学、事業と法律の関係学まで多種多様な領域をカバーしています。さらに、この学部は、他学部と連携しながら学生に科学技術や教養についての理解をもたせることにも力を入れています。

おすすめポイント

1. 1425年に創立されたベルギー最古・最大の世界トップレベル大学

経営学分野の国際競争力・国際的評価が高く、欧州首都圏という

2. 立地上の優位性を活かして、欧州および国際的な経済政策・経営戦略に熟知した教授陣

実務の世界と学問の世界との

3. 相互作用を重んじ、幅広い学識をもった実務家、公務員、学者の養成を目指している



学事暦

1st Semester :

mid-September to late December
(+ exams in January)

2nd Semester :

early February to late May
(+ exams in June)

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。



スウェーデン
Sweden

▶▶▶ ヨンショーピング大学

国際ビジネススクール

ヨンショーピング大学はスウェーデンの首都ストックホルムから電車・バスで3時間半、スウェーデンの第二の都市ヨーテボリからバスで1時間半、デンマークの首都コペンハーゲンから電車で3時間半、ノルウェーの首都オスロから車で4時間という、北欧の主要都市の真ん中に位置する交通都市です。ヨンショーピング大学のビジネススクールはインターナショナルスクールということで、大学はスウェーデン人だけでなく、世界各地の学生であふれています。ただヨーロッパ人が中心でアジア人はやや少ない印象です。

日本と北欧スウェーデンの文化的つながりというのは、ドイツ、フランス、イタリア等のほかの西欧諸国に比べ決して強くありません。したがって、文化というのは日本で経験しているそれとはまるっきり異なったものとなります。これは食文化も含みます。日本でなれ親しんでいるものをこちらでも手に入れるというのは至難の業です。また人種構成という面で見ても、他の西欧諸国に比べると、スウェーデン人の割合が高く、アジア人は非常にマイノリティです。これらのことからこちらでの生活というのは精神的にあまり楽とは言えません。しかし、逆に言えば、自らを全く違う環境に置けるわけですから、非常に大きな成長のチャンスが得られる環境であるとも言えます。

交換留学URL > <http://ju.se/en/study-at-ju/exchange/jonkoping-international-business-school.html>

📅 学事暦

秋学期

8月中旬に到着

Introduction week(義務的): 8月中～下旬

授業期間(秋学期の第1クォーター):

8月下旬から10月中旬

試験期間(再試を含む): 10月中～下旬

授業期間(秋学期の第2クォーター):

10月下旬から12月中旬

試験期間: 12月中旬

再試期間: 1月上～中旬

春学期

1月上旬に到着

Introduction week(義務的): 1月上～中旬

授業期間(春学期の第1クォーター):

1月中旬から3月中旬

試験期間(再試を含む): 3月中～下旬

授業期間(春学期の第2クォーター):

3月下旬から5月下旬

試験期間(再試を含む): 5月下旬～6月上旬

※最新の学事暦は大学ホームページを確認のこと。



おすすめポイント

1. 交換留学が義務になっているため、留学生サポートが充実
2. 小さな町で、治安がとてもしっかり、夏は天国(冬はつらいが)
3. 現地の人はまったく普通に英語を話し、英米よりもわかりやすい

Jönköping University,
Internationall Relations
Office, P.O. Box 1026,
SE-551 11 Jönköping,
Sweden

Jönköping University

留学の 概要と成果

Rapportera om
mina studier i Sverige

氏名 ▶ Uさん

学年 ▶ 学部3回生

留学期間 ▶ 2015年8月～2016年1月(1学期)

この大学では、一つのセメスターが二つのクォーターに分かれており、各クォーターで一つまたは二つの授業を履修することができます。授業にもよりますが、各授業はだいたい週に3回前後、2時間程度行われます。したがって、日本の感覚では、一つの授業が日本の授業の4コマに相当すると考えていいと思います。ただし、宿題はかなり出ますので、それも考慮に入れて授業は組むべきでしょう。

私は、1セメスター留学したので、2クォーターを経験しました。第一クォーターでは授業は一つだけ、マクロ経済学の基礎を、第二クォーターではミクロ経済学の基礎と東・東南アジア経済論を履修しました。マクロ経済学基礎は英語になれる目的で受講しました。ただ、基礎といっても京大でいう「マクロ経済学2」で扱う内容までカバーしますので、油断は禁物です。ミクロ経済学は正直受講をおすすめしません。これはこちらに留学されたらすぐ気づくと思いますが、数学のレベルが非常に低く、ミクロ経済学の講義においてもほとんど本質的な議論はなされません。東・東南アジア経済論に関しては非常に意義深いと感じました。この授業を通して「自文化圏を外の目線で見ると」という私の留学の目標の一つが達成されました。

TIPS! これから留学する 後輩へのアドバイス

- ✓ 留学に行く前に目標を自分の中でしっかり立てましょう
- ✓ 特に留学期前半は勉強だけでなく、友達づくりにもしっかり時間を割きましょう
- ✓ 英語の基礎力は日本でしっかりつけてから留学しましょう
- ✓ しんどいときもありますが、苦労した分だけ成長できるということを忘れないように!
- ✓ どうせ外国行くな環境の全く違うスウェーデンへぜひ!

第一セメスターは、一つしか授業を履修しなかったため、友達づくりや旅行を十分に楽しむことができました。これはこれから留学に行く方に強くおすすめしたいのですが、やはり現地での人間関係というのは初動で決まるところが大きいと思います。したがって最初のクォーターはそこまで授業を詰めず、むしろイベントやパーティーなどに積極的に参加し、人間関係づくりにいそむのがいいのではないかと思います。対して、第二セメスターは二つの授業を履修したこともあって、大半の時間を勉強に割られることになりました。授業の合間をぬって旅行もしましたが、やはり勉強中心のクォーターになったかと思います。

この留学を通じて得られたこととしては、第一に英語力が挙げられます。やはり授業、友達との雑談等すべて英語で行うとリスニング、スピーキングともに変化は現れます。ただし、授業や彼らの話についていくためにはそれ相応の基礎力があることも確かです。日本で基礎固めしておくことは必須かと思われました。

次に言えることとしては、自らの「コンフォートゾーン」の外で生きるすがすがしさに身がついたということです。日本にいる間は家族と共に暮らし、人間関係に関してもどうしてもサークル内などの閉鎖的なものに依存しがちになりますが、それらすべてを失った状態でいかに生きぬいていくのかという術が身につきました。これは大変しんどいことですが、苦労した分自分は成長できるのではないかなと考えます。



よくある質問とその答え

大学間交流協定に基づく派遣留学とはどのように違うのですか。

Q1

A1. 部局間交流協定に基づく派遣留学は、本研究科・学部と他大学の特定部局との間で結ばれた学生交流協定に基づいた留学であり、交流事業は学部・研究科を単位としています。大学間交流協定に基づく派遣留学は、京都大学と他大学との協定に基づく派遣留学であり、交流事業は大学の国際交流課の管轄になっています。募集期間や応募書類、選考方法等が異なりますので、大学間交流協定については関連資料を自分で調べるようにしてみてください。

Q2

留学するメリットは何ですか。

A2. 異文化の人とうまく接する能力、環境適応力、外国語能力を高めることができるのはもちろんですが、部局間交流は語学研修とは違います。最も大きなメリットは、相手先の大学が得意とする高度な専門的内容を学習し、議論し、習得する機会を得られることです。逆に言えば、留学に際しては、専門的な内容を外国語で学ぶことの意欲が欠かせません。というのも、協定校において単位を取得し、本学での卒業認定に必要な単位へと換算するという目標を達成することが、交換留学のいわば最低限の条件だからです。それが達成されないのであれば、協定校における本学の評判を落とすことになりかねないので、学生自身にも自覚と責任が求められます。

どの大学に留学をしようか迷っています。

Q3

A3. 大学が異なれば、たとえ同じ国であっても、性格や強みは大きく異なります。いくつか大学について、その強みを挙げてみます。

- I. タイ、インドネシア、中国、台湾等の近年成長著しいアジア地域に留学することは、生きた経済情勢の観察という意味でまたとない機会となるでしょう。
- II. シンガポール・マネジメント大学は経営系の大学です。それ以外の社会科学諸分野の勉強もできますが、とくにアジアをベースにした経営管理に関する最先端の理論と実証を学ぶことに意義があります。
- III. ドイツでは、大陸ヨーロッパの金融の中心で金融経済学などの現代経済学を学びたいならばゲテ大学が、経済史や学際分野に取り組みたいならばハイデルベルク大学をお勧めします。
- IV. オランダのワーヘニンゲン大学は社会科学部が主な交流先ですが、基本的に農業大学ですので、農業・食料・環境分野を勉強したい学生に勧めます。
- V. ベルギーのルーヴェン・カトリック大学も協定先は経済経営学部です。経済学全般の勉強が可能ですが、経営学分野の教育研究の高さに定評があります。

これ以外の大学にも、それぞれ、得意とする分野があります。各協定校のホームページをよく見て、自分が関心のある国、地域、学部、分野に最も合致する大学を選んでください。

Q4

国立台湾大学・国立政治大学と
中国人民大学・北京大学について、会話・口語において
中国語が異なっていて通じないことはありますか。

A4. 一方の地域で学んだ会話・口語であれば、他方の地域でも通じます。ただし、文字は、台湾では繁体字、大陸では簡体字と異なっているので、少しは相互に学習する必要があります。しかし、それは大きな壁ではありません。

Q5

TOEFL・IELTS等の語学証明の発行が応募締め切りまでに間に合いません。後日提出してもよいでしょうか。

A5. 選考に際して不利益が生じる場合がありますので、語学試験はできるだけ早く受験し、原則、期限内に証明書を提出するようにしてください。

TOEFL・IELTS等の公的語学証明の代わりに、語学の先生に語学力についての証明書を書いていただき、それを提出してもよいでしょうか。

Q6

A6. 認めません。必ずTOEFL・IELTS等の語学試験を受験し、正式な語学証明書を提出するようにしてください。

Q7

TOEFL・IELTSスコアが希望協定校の基準に達していませんが、応募してもよろしいでしょうか。

A7. 構いませんが、選考に際して語学能力は重要な基準となります。定員に空きがある場合、協定校の基準以下のスコアでも派遣推薦する場合がありますが、現地での学生生活を考えると望ましいことではありません。基準以下のスコアで派遣推薦を得た場合は、留学までの期間、少しでも基準スコアに近づくよう努力してください。

Q8

派遣留学を希望する地域の現地語ができませんが、応募に際して問題ありませんか。

A8. 問題ありません。現地語ができるにこしたことはありませんが、すべての協定校が英語による講義を開講しているため、まずは講義についていくだけの英語力が重要となります。ただし大学院生等で現地調査を目的とした派遣留学の場合は、この限りではありません。

派遣留学応募後、派遣留学生として協定校に推薦するとの連絡を受けました。今後の留学手続きはどうすればよろしいでしょうか。

Q9

A9. 派遣留学推薦者の決定後、本研究科・学部より協定校の担当者に派遣留学生の指名連絡をします。この時点では派遣留学が確定した訳ではありません。本研究科・学部からの推薦連絡を受けて各協定校が承認を行い、派遣留学生に直接、留学手続きの連絡(e-mail)を行います(本研究科・学部からの推薦連絡を受けて、ただちに留学手続きが始まる訳ではありませんので、留意してください)。留学手続きの期間は大学によって異なりますが、留学学期開始の3~5ヶ月前までになされる場合が多いようです。派遣校の担当者の指示に従い、速やかに留学手続きを行うようにしてください。期限通りに派遣留学の手続きを行わなかった場合、留学を取り消される場合もありますので注意してください。派遣留学が正式に決定したら、出発前までに本研究科・学部の教務掛に以下の書類を提出して下さい。

- 「在学のままの外国の大学への留学願」、学習計画書及び受入承諾書と日本語訳
- 「海外渡航届」

Q10

派遣留学が決まりました。
留学までの期間、 といった準備をすればよいでしょうか。

A10. まずは協定校担当者の指示に従い、派遣留学の正式登録や住居、旅券・VISAの申請や取得、海外留学生保険契約等の必要手続きを行ってください。また現地での生活をスムーズに始められるよう、留学先地域の生活や防犯対策、安全に関わる情報について、インターネットや書籍、外務省のサイト等でよく調べてください。また協定校／部局の公式サイトで講義や学生生活の情報について調べ、受講したい講義等を決めておくのもよいでしょう。すべての協定校が英語で行われる講義を開講していますので、英語での講義を受講／単位取得できるだけの英語力を培うことも大切です。英語力が十分にある場合は、現地語を予め勉強しておくのもよいでしょう。機会があれば留学経験者の話をきいてみるのもよいでしょう。京都大学の留学支援サイトもチェックしてみてください。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students3>

Q11

派遣留学が決まりました。
 といった費用がかかるでしょうか。
 また、渡航や滞在費の補助制度や奨学金などがありますか。

A11. 派遣留学に際しては、留学地域への往復渡航費や旅券／VISA発行費用、各種保険費用が必要となります。協定校での授業料は徴収されませんが、協定校が指定する諸経費(図書館や学生会費など)が別途必要となる場合があります。もちろん日本と同様、住居や食費等現地での生活費も必要となります。

日本学生支援機構や京都大学のサイトから、関連する留学のための奨学金をチェックしてみるとよいでしょう。

<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students3/scholarship.html>

また大学院生の場合は、京都大学教育研究振興財団等の財団から、若手研究者の海外渡航支援等の助成金が受けられる場合がありますので、情報を収集し、応募してみるとよいでしょう。 <http://www.kyodai-zaidan.or.jp/>

Q12

派遣留学が決まりました。
 どのような海外留学保険に加入したらよいでしょうか。

A12. 本学では、学研災付帯海外留学保険「付帯海学」への加入を推奨しています。一加入にあたっては、学研災に加入していること、海外渡航届を大学に提出していることが条件となります。京都大学のサイトもチェックしてみてください。

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/student_3/risk/insurance.html

派遣留学が決まりました。
 留学中の学習について、注意すべきことはありますか。

A13. 留学中は1学期(クォーター制の場合は2学期)当たり、少なくとも4科目相当の科目を履修するようにしてください(1科目当たり22.5時間の講義を目安とし、1学期当たり少なくとも90時間の講義を受講するようにしてください)。履修に際しては留学前に派遣協定校のホームページ等でシラバスを確認し、履修予定科目を決定して学習計画書に明記してください。また、派遣部局とは異なる部局の授業の履修を希望する場合、講義開始前までに派遣校の担当者に問い合わせるようにしてください。

Q14

派遣留学が決まりました。
 留学中の生活について、注意すべきことはありますか。

A14. 留学期間中は学生の本分を守り、京都大学経済学部／大学院経済学研究科学生に相応しい生活態度を心がけてください。派遣留学生の現地での成績や態度は派遣協定校との信頼関係や、京都大学経済学部／経済学研究科の評判に関わりますので、よく注意してください。尚、留学中の成績、生活態度等が不適当と国際交流教育委員会が判断した場合は派遣推薦を取消し、帰国を命じることがありますので注意してください。

Q15

派遣留学が決まったのですが、就職活動のため、学期終了より早く帰国(一時帰国)してもよいですか。

A15. 本研究科・学部としてお答えできることではありません。やむをえない事情で一時帰国や早期帰国等を行う場合は、住宅や寮、VISA等の必要手続きを適切に行うようにしてください。また個人的事情による学期中の帰国に伴う単位取得等の不利益については、本研究科・学部としては一切責任をとれません。

Q16

派遣留学が終わりました。帰国後に必要な手続きは何ですか。

A16. 帰国後、すみやかに派遣留学の報告書、交換留学・就職活動・卒業・進学のスケジュール記入シート(様式はKULASISにあります)を教務掛まで提出してください。報告書の提出をもって留学期間の終了とみなしますので、必ず本人が直接窓口へ提出してください。

派遣留学先で取得した単位を卒業単位として算定したいのですが、どうすればよいですか。

A17. 留学して修得した単位を卒業に必要な単位として算入を求める場合は、帰国後、すみやかに以下の申請書を教務窓口へ提出してください。申請は帰国日(パスポート記載の入国日あるいは航空チケット等で確認できる日)から1カ月以内に行なってください。期限を過ぎますと受理できません。また、帰国報告書の提出を伴わない一時帰国では提出できません。学部専門科目は申請した学期の翌学期に認定します。修得年度は留学した大学のAcademic Yearに準じた年度とします。卒業に必要な単位として認定されるのは30単位以内です。なお、全学共通科目の認定は国際高等教育院で判断されますので、窓口で確認してください。

- ・経済学部専門科目単位として申請する場合
→「外国留学で修得した科目及び単位の認定申請書」
- ・全学共通科目単位として申請する場合
→「単位認定申請書」

この申請書に留学先の大学が発行した成績証明書(コピー不可)、シラバス、アカデミックカレンダー、時間割を添付して提出してください。代理人による手続きは認められません。申請科目がすべて認められるとは限りませんので注意してください。また、経済専門単位・全学共通単位の両方に申請する場合は、申請書も2つとも提出してください。ただし、同じ科目単位を経済専門単位・全学共通単位の両方に申請することはできません。

Q17

Q18

留学中、京都大学での履修登録は認められますか。

A18. 当該学期の授業期間に重ならない場合は履修を認めます。

- 授業期間終了後以降に出国する場合
- 帰国後、経済学部学事日程における授業開始日までに報告書を提出した場合

留学中のため、年度初めの健康診断を受けることができません。どうすればよいですか。

Q19

A19. 留学をしたことにより学年初めの定期健康診断を受けられなかった場合は、留学プログラム終了後すみやかに教務掛に申し出てください。定期健康診断は全学生が必ず受けなければならないもので、無届けで受診しない場合は当該年度の試験を受けることができませんので、特に留意してください。

授業料等を不徴収とする 部局間学生交流協定校への 派遣留学生募集要項

応募資格

- ① 経済学部の正規課程に在籍する者
- ② 留学期間が1学期以上1年以内の者
- ③ 休学することなく留学する者で、経済学部長の推薦を受けた者
- ④ 派遣先大学の応募資格を有する者

(注) 本学の授業料は納め、留学先での授業料等は徴収されない。

応募書類

- ① 申請書 ▶ 様式 1-1 (ホームページよりダウンロードすること)
- ② 留学希望理由書 ▶ 様式 1-2 (ホームページよりダウンロードすること)
- ③ 成績証明書 ▶ 和文・原本 (ホームページよりダウンロードすること)
- ④ 語学力の証明

(1) 英語力に関する公的な証明書 (TOEFL, IELTS 等) を提出すること。

申請時より2年以内のもので、TOEFL iBT80 / IELTS 6.5 以上が望ましい。

(2) 派遣先国・地域の公用語に関する公的な証明書や、当該公用語科目の履修歴と関連の成績証明書を提出可能な者は、併せて提出すること。(◎派遣先大学では、英語で提供される授業のみによって一般的に取得される程度の数の単位の取得が可能である。よって、応募時点で派遣先国・地域の公用語能力を有することは必要でないが、学内生活の便宜上、留学時点で少なくとも初級程度の能力を持つことが望ましい。)

- ⑤ 所属演習の指導教員等による推薦書 ▶ 日本語、様式 1-3 (ホームページよりダウンロードすること)

(◎相当する教員を持たない者は、履修科目の担当教員等に依頼すること)

※応募書類の word 版は KULASIS の My Page でダウンロード可能。

※なお、上記書類は本学部内選考のためのものであり、選考後、派遣先大学側の応募書類を作成することが必要である。これについては、選考後に該当者に連絡する。

募集締切日 及び 書類提出先

次年度春学期出発分 [窓口休止日を除く] 今年度 6月第二月曜～第四金曜
次年度秋学期出発分 [窓口休止日を除く] 今年度 1月第二月曜～第四金曜

▶ 提出先 経済学部教務掛 ※最新の情報は教務掛に確認すること。

学部学生

Undergraduate Students

選考方法

応募書類により本学部で選考(必要に応じ面接)を行い、成績、語学力、留学理由、推薦書、面接結果等を総合的に判断し決定する。面接を行う場合には、日時等は教務掛より個別に通知する。本学部での選考(派遣先大学への推薦者の決定)の結果は、2ヶ月以内に応募者に通知する。なお、派遣先大学側で改めて選考が行われることがあり、本学部での選考の結果は、留学の最終的な許可を保証するものではない。

派遣 決定後

応募者は派遣決定後、派遣留学中の計画書をすみやかに提出すること。

留学後 の報告

派遣留学生は帰国後、所定の報告書(派遣決定後に本人に交付する)をすみやかに提出すること。単位の認定を希望する場合は、派遣留学で修得した科目及び単位の認定申請書(KULASISにて掲示)を提出すること。



授業料等を不徴収とする 部局間学生交流協定校への 派遣留学生募集要項

応募資格

- ① 経済学研究科の正規課程に在籍する者
- ② 留学期間が1学期以上1年以内の者
- ③ 休学することなく留学する者で、経済学研究科長の推薦を受けた者
- ④ 派遣先大学の応募資格を有する者

(注) 本学の授業料は納め、留学先での授業料等は徴収されない。

応募書類

- ① 申請書
▶ 様式 2-1
(ホームページよりダウンロードすること)
- ② 留学希望理由及び派遣先での研究計画
▶ 様式 2-2
(ホームページよりダウンロードすること)
- ③ 成績証明書
▶ 和文・原本
(ホームページよりダウンロードすること)
- ④ 語学力の証明
(1) 英語力に関する公的な証明書 (TOEFL, IELTS 等) を提出すること。
申請時より2年以内のもので、TOEFL iBT80 / IELTS 6.5 以上が望ましい。
(2) 派遣先国・地域の公用語に関する公的な証明書や、当該公用語科目の履修歴と関連の成績証明書を提出可能な者は、併せて提出すること。(◎派遣先大学では、英語で提供される授業のみによって一般的に取得される程度の数の単位の取得が可能である。よって、応募時点で派遣先国・地域の公用語能力を有することは必要でないが、学内生活の便宜上、留学時点で少なくとも初級程度の能力を持つことが望ましい。)
- ⑤ 指導教員等による推薦書
▶ 日本語、様式 2-3
(ホームページよりダウンロードすること)

※応募書類の word 版は KULASIS の My Page でダウンロード可能。

※なお、上記書類は本研究科内選考のためのものであり、選考後、派遣先大学側の応募書類を作成することが必要である。これについては、選考後に該当者に連絡する。

大学院生

Graduate students

募集締切日 及び 書類提出先

次年度春学期出発分 [窓口休止日を除く] 今年度 6月第二月曜～第四金曜

次年度秋学期出発分 [窓口休止日を除く] 今年度 1月第二月曜～第四金曜

▶ 提出先 経済学部教務掛

※最新の情報は教務掛に確認すること。

選考方法

応募書類により本研究科で選考(必要に応じ面接)を行い、成績、語学力、留学理由および派遣先での研究計画、推薦書、面接結果等を総合的に判断し決定する。面接を行う場合には、日時等は教務掛より個別に通知する。本研究科での選考(派遣先大学への推薦者の決定)の結果は、2ヶ月以内に応募者に通知する。なお、派遣先大学側で改めて選考が行われることがあり、本研究科での選考の結果は、留学の最終的な可否を保証するものではない。

留学後 の報告

派遣留学生は帰国後、所定の報告書(派遣決定後に本人に交付する)をすみやかに提出すること。単位の認定を希望する場合は、外国留学で修得した科目及び単位の認定申請書(KULASISにて掲示)を提出すること。



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

Photo Credit

page			
05	Renmin University of China	12	Chiang Mai University
07	National Taiwan University	13	University of the Philippines Los Baños
08	T.I.	14	Universitas Gadjah Mada
10	Thammasat University	15	Singapore Management University
11	Chulalongkorn University	16	University of Glasgow
		17, 18	Goethe University
		18, 19, 20	K.K.
		21, 22	Wageningen University
		23, 24	Katholieke Universiteit Leuven
		25	Jönköping University
		26	S.U.